



第 18 号  
2025 年  
2 月 16 日

## ☆東京教区聖職按手式 参列者からの声☆

1月13日、東京教区聖ラナンデシ主教座聖堂において聖職按手式が行われ、高橋宏幸主教によって、ウイリアムズ藤田誠執事が司祭に按手されました。

\* \* \*

ウイリアムズ藤田誠さんの司祭按手式が晴天の中で行われました。全国から多くの方々が集まりました。途中、太田信三司祭の感動的な説教中に藤田さんが涙する場面もありました。本当に多くの方々や聖職団からの祈りと祝福を受け、藤田さんはやさしく立派な司祭になることでしょう。藤田さん、おめでとうございます。

(ニ光教会 パウロ濱口 俊)

誠さんはニ光教会の中で育ち、聖職へと巣立っていったとの思いがあり、信徒一同、心からお祝い申し上げます。協働関係にあるフィリピン教会からも、主日聖餐式と家庭集会で、新司祭のために特別の祈りをしましたと、お祝いの言葉が届いています。喜びと希望と感謝をもって、神さまのご祝福のうちに歩み続けられますように。

(ニ光教会 マグダラのマリア安次嶺 佳子)

司祭按手、この特別な日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。神様の導きと恵みに感謝しつつ、これからの歩みが祝福に満ちたものとなりますようお祈りしております。新たな使命を受けられた中で、何事にも温かく真摯に取り組むウイリアムズは、多くの方々に希望と愛を届けられる存在として歩まれることでしょう。

(目白聖公会 ヨハネ橋詰 弘道)

按手を受けられ新たに司祭としての歩みを始められること、心よりお祝い申し上げます。が、これからの司祭職の道に 있습니다。神様の大きな働きとなることを確信しています。主がこれからの歩みを豊かに祝福されますよう、心からお祈りしています。ウイリアムズ藤田誠先生の真摯で実直なお姿が、これからの司祭職の道に 있습니다。神様の大きな働きとなることを確信しています。主がこれからの歩みを豊かに祝福されますよう、心からお祈りしています。

(目白聖公会 モニカ高瀬 幸子)

## 教会訪問記

### 東京教区 真光教会

北関東教区 大宮聖愛教会

マリヤ 石森 眞子

1月25日(土)「東京教区で最も歴史のある教会。深川から町田に移転した宣教からの学び」と案内された17回目の教会巡礼で、真光教会を訪ねました。最寄りの田園都市線すずかけ台駅から徒歩15分、希望者には信徒の方が車で送迎してくださいました。丘陵地帯、住宅街の中にある教会でした。駅からはすずっと上り坂、教会が頂上のイメージ、昔は駅から十字架が見えたそうです。

「昼の祈り」をおさげしたのち、「時代の変化に応じて異なる場所で宣教の働きを続けた教会」と題したお話を伺いました。東京教区は100年、真光教会は150年、町田へ移って50年、たぞうです。その変遷の始まりは、ウイリアムズ主教が自ら牧会された深川聖三一教会でした。築地居留地内に設立された教会に、深川の教会から多くの信徒が移って聖三一教会を名のり、深川に残った信徒の教会は真光教会と名付けられました。関東大震災で焼失、本所に仮聖堂を建てたものの、下町大空襲で焼失、その後赤羽(都内の北)で教会活動を復活させます。それぞれの写真も見せていただきましたが、立派な建物に多くの人々

が集っておられ、教会を失った信徒の皆さんのお気持ちを考えさせられました。

赤羽は敷地も狭く、建物の老朽化から立て直しもできず、教区の判断で、必要とされた多摩地区への開拓伝道の拠点として町田が選ばれたこのことです。「教区成立50周年にあたる事業」として都内の一番南への移転となり、城南グループの協力も得て、核となる信徒が移籍して礎を築き、宣教の種を蒔き続けて現在までこられました。アットホームな雰囲気の方、祭壇の十字架は釘が3つ打たれていたことに、イエスさまとともにいる教会であると印象に残りました。



## 北関東・東京教区

### 「新教区設立への道」の現在地④

宣教協働特別委員会 司祭 齋藤 徹

1月8日、組織小委員会が主催した合同教役者懇親会が志木聖母教会にて行われました。ここ数年協働の道を行ってきた両教区ですが、ともに一つの食卓を囲みながら懇親するひと時を持ちました。互いの働きのこと、自身のことなど、それぞれの想いを分かち合う機会でした。

1月30日、神田キリスト教会において合同教役者会が開かれました。上田亜樹子司祭がファシリテーターとなったバイブルシェアリングから始まり、宣教、給与検討、教務各小委員会からの説明・報告を受け、質疑など行われました。

宣教小委員会からは、前回説明した新教区の宣教材制案に寄せられた意見を反映した改正案について説明があり、それを基に施行規則案策定へと作業を進めていくことが報告されました。

給与検討小委員会からは、新教区設立までの教役者給与のあり方について、段階的に調整し、給与体系の統一を目指していくこと、そのために給与のみならず、手当や処遇など、細やかな調整を重ねていく必要があることが報告されました。

教務小委員会からは、法人合併の手続きの進捗について、また今後の作業スケジュールの見通しについて報告されました。

より具体的な協議を進めていく段階ですが、歴史の中で培われた教区の様ざまな差異を確認し、いかに新たにしていけるかが課題です。しかしこの課題への取り組みは新教区設立後も継続していくこととなります。「歩みながら創っていく」という姿勢で、協働と新教区設立の道を進んでいます。

### ★次回巡礼企画のご案内★

#### 東松山聖ルカ教会

日時：5月10日(土)

見どころ：

2018年移転・新築の礼拝堂です。近隣の丸木美術館見学も予定しています。

申し込み：5月4日(日) 締切

[junreiteam@googlegroups.com](mailto:junreiteam@googlegroups.com)

巡礼チームブログ →



『きょうどう通信』へおたよりをお寄せください。宣教協働へのご意見・ご質問は下記メールアドレスまで。ご意見は「特別委員会」で共有します。投稿はすべてを掲載できませんが、ご了承ください。「春」をテーマにした俳句・川柳もお待ちしております。俳号・匿名どちらでも可です。  
kouhou.k.t@gmail.com

『きょうどう通信』第18号

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

広報小委員会